

安全（５）

岡崎市竜泉寺町の一般県道桑谷柱線において、通学路に、非常に危険な箇所がある。事故が起きてからでは遅い。早急な改善を望む。
(岡崎市、60代男性)

〔回答〕

岡崎市竜泉寺町の一般県道桑谷柱線の道幅の狭い区間につきましては、同町字東柄栗付近から同町字間峯ヶ平付近の約720mの区間におきまして、現在、道路の拡幅工事を鋭意進めており、この道路拡幅工事により、道路の両側に歩道が設置される計画となっております。

工事区間の内、南側の約220mの区間につきましては、平成19年度までに用地買収を終え、工事に着手いたしております。この区間は平成20年夏頃の完成供用を目標に、現在、工事を進めております。

また残る区間につきましても、地権者の方々のご協力を得ながら、用地買収に向けた測量を実施したところです。

引き続き、工事を進めてまいりたいと考えておりますが、限られた予算の中での実施となりますので、ご理解頂きますよう、よろしく申し上げます。
【建設部】

交番に警察官が不在のことが多いと聞く。また、交番の場所が分かりにくいという話も聞く。警察官が地域を巡回したり、交番にいて犯罪抑制効果につながると思う。

(豊田市、40代女性)

〔回答〕

お寄せいただいた交番と地域警察官の活動に関するご意見につきまして説明いたします。

ご存じのように交番の警察官は、困り事相談や地理案内など交番での活動のほか、地域のパトロールや多発する事件事故の現場で活動するため交番を不在にせざるをえないことがあります。そこで、愛知県警察では、こうした警察官の不在時に交番を訪問された方にお応えできるよう、順次、元警察官である交番相談員を配置することとしております。交番相談員がお話を伺った事案は、交番の警察官に確実に引継がれますので安心して困り事や心配事などを相談して下さい。また、交番相談員がいることで、警察官は積極的にパトロールに出る機会も増えますので、皆さんにはその姿に安心感を覚えて頂けることと思っております。

なお、交番には、直接警察署に連絡できる電話を設置していますので利用してください。

次に「交番の場所がわかりにくい。」というご意見につきましては、交番の新設または改築などにあわせて、交番名を記した電光式案内標識を整備するとともに、交番の近くで朝夕の立番により交番の所在地をアピールするほか、徒歩または自転車によるパトロールなどの制服を見せる活動や皆さんの身近で発生した犯罪などの情報をミニ広報紙などでお知らせすることで、地域の皆さんに安全、安心を実感していただけるよう今後とも努めてまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

なお、愛知県警察のホームページでは交番、駐在所を紹介していますので、いざというときの備えとして、参考にして頂ければ幸いです。
【警察本部地域総務課】

時間帯によって無人となる名鉄梅坪駅は、無賃乗車する人がいたり、夕方以降はそうした人が集

まるなど不安を感じる。駅の利用者数を考えると無人の時間帯をなくして欲しい。また、駅周辺には街灯のない場所が多く、暗いと危険を感じる。駅の常時有人化を望む。

(豊田市、40代女性)

〔回答〕

無賃乗車問題や治安対策としての常時有人化についてのご意見は、名古屋鉄道株式会社に申し伝え、対応を検討していただくようお願いしました。

今後も、県民の方々のご意見を踏まえつつ、鉄道事業者と意見交換等を密に行うなどして、鉄道を利用される皆様の安全や利便性の向上に向けて努めてまいります。

また、街灯のない場所が多く危険とのご意見ですが、たしかに梅坪駅周辺は夜になると、街灯や防犯灯が少ないために非常に暗く、不安を覚える方も多いことと思います。

県では、夜の梅坪周辺を明るくするため、豊田市役所に防犯灯の増設を依頼しているところです。

【地域振興部、警察本部】

地球温暖化をくい止め、ふれあいのある街を目指すために、交通権の保障と併せ、高齢者も、子どもも安心して走行できるサイクリングロードを網の目のように整備して欲しい。

(犬山市、60代女性)

〔回答〕

ご提案のありました「サイクリングロードの整備」は、交通安全上有効な手段であり、望ましい交通体系ですが、本県の自動車に大きく依存した現状の中では、直ちに方向転換することは難しいと考えています。

しかし、ご指摘の「高齢者も子供も安心して走行できる」道路整備が必要であることは十分認識しており、歩行者と自転車が錯綜し危険な区間において、自転車走行帯を歩道上で明示(カラー舗装等)することに取り組んでいます。

また、県内4地区(名古屋市内2地区、豊田市内1地区、豊橋市内1地区)において、自転車の走行環境を整えるモデル地区として位置づけ、自転車道(自転車専用帯)の整備に加え、走行ルール周知なども行い、利用する皆様に自転車走行について関心を高め、適切な利用を促す契機となることを目指しています。

自転車道整備の課題として、道路拡幅を伴うことが多く、網の目のように広がるまでには相当規模の事業費が必要なこともあります。そのため、利用状況によっては、皆様の意見を伺いながら現状の道路幅員の配分を見直す(例：車道幅の減、歩道幅の増)など、工夫を行いながら整備を進めることも重要と思います。

安全な道路の整備には今後とも努力してまいりますので、よろしく申し上げます。

【建設部】

省エネ、健康管理等の観点からも、今後、自転車の利用を奨励することが求められると思う。車優先の道路から、住民が快適に移動に供する道路の整備として、自転車が安全、安心して走ることができる道路の整備をお願いしたい。

(幡豆町、60代男性)

〔回答〕

ご指摘のとおり、本県は自動車に大きく依存した社会であり、渋滞や交通事故が多発しているこ

とから、道路や安全施設の整備に力を注ぎ、問題の解消、減少に努めてきました。

また歩道の整備については、当初は歩行者の事故防止を目的とした最低限の幅員でした。従って、ご指摘の狭い歩道とは、比較的古い時代に整備された区間と思われます。平成5年以降は利用内容の変化などを踏まえ、広い幅員を確保するようになっていきます。

今後の道路整備のあり方については、ご意見にあるように環境や健康に配慮し、自転車の役割が高い交通体系へ移行していくことが想定されますが、一方で未整備区間を始めとして車道整備の要請も多いことから、両者の調和を図りながら進めていく必要があります。また道路拡幅には大きな事業費が必要なので、利用状況に応じて現状の道路幅員の配分を見直す(例：車道幅の減、歩道幅の増)など、工夫を行いながら、自転車に安全な道路の整備を促進することも重要と思います。

安全な道路の整備には今後とも努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

【建設部】